

大鹿村中央構造線博物館たより 160号



2022年9月発行

TEL: (0265) 39-2205
staff69@mtl-muse.com

ひゃっけん

百間ナギ崩落拡大の兆し

中央アルプスの南駒ヶ岳稜線下には、約2万年前に氷河が削ってできたお椀状の地形が見られ、「摺鉢窪カール」と呼ばれています。そして、摺鉢窪カールの縁には、「百間ナギ」と呼ばれる大きな崩落地があります。この崩落地は、花崗岩の白い岩がむき出しになっており、大鹿村からも、夕立神展望台など標高の高い場所から眺めることができます（写真1）。

今年、7月24日、摺鉢窪カールの先端近くに建っている「摺鉢窪避難小屋」付近に、地表のクラック（亀裂）が発見され、カール内が立ち入り禁止となったそうです。遠くない将来、クラックのところから崩落が発生して、百間ナギが拡大するというようなことが起こる可能性があります。大鹿村から見る景色にも変化があるかもしれません。（宮崎）



写真1 三伏峠までの登山道沿いから見た摺鉢窪カールと百間ナギ

エコパークスキルアップ講座

講師：蛭間啓さん（ひるま植生salon代表）

今回は、大池の周辺を歩いて、森の様子を観察します。お昼は、今春オープンしたレストラン「ハッコー大鹿」さんにて、大鹿村の食材を使った料理をいただきます。

日時：2022年10月17日(月) 09:30～16:00

集合場所：中央構造線博物館(9:00)、塩の里(9:10)、大池高原「ハッコー大鹿」駐車場(9:30)

持ち物：飲み物、歩きやすい靴と服装、防寒具、雨具、虫メガネ（お持ちの方）

申込先：大鹿村中央構造線博物館（☎0265-39-2205）

申込締切：10月8日(土)

昼食代：1650円(ハッコー大鹿さんのバターチキン発酵カレーランチ+デザートセット)

※昼食をご自身で持参希望の方は、昼食代はかかりません。10月15日(土)までにお申込みください。